

Vドラッグ、介護事業参入

居宅支援事業所を開設

バローグループでドラッグストア「Vドラッグ」を展開する中部薬品（多治見市）は、介護事業に参入した。岐阜市の茜部南店に8日、ケアマネジャーが常駐する居宅介護支援事業所を開設し、介護関連商品の販売も始めた。拡大する介護の需要を取り込み、店舗の商圏を広げる。

（松浦健司）

店舗内 関連商品販売も

Vドラッグに調剤薬局の併設とクリニック（診療所）の誘致を進めており、処方箋の受け付けから日用品や食品の購入、介護の相談ま

で一つの店舗で完結できるようにする。居宅介護支援事業所は来年1月に愛知県岡崎市内のVドラッグにも開き、順次拡大する。



居宅介護支援事業を始めたVドラッグ茜部南店。岐阜市茜部寺屋敷



介護ベッドなど介護関連商品を並べた売り場。同

と販売、訪問介護など、在宅医療と介護を一体で支える多角的な事業展開を計画する。福祉用具専門相談員やケアマネジャーの育成も行い、地域の高齢者が最期まで自宅で過ごせる支援体制の構築を目指す。

開設した事業所名は「バロー介護支援センター茜部南」で、茜部南店の改装に合わせて店舗の一角に個室を設けた。ケアマネジャーが介護保険サービスの利用者や家族の希望を聞き、ケアプランを作成している。さらに茜部南店の建物には来年春に、調剤薬局と、整形外科、消化器内科の両クリニックがオープン予定。薬剤師による在宅訪問や服薬管理、クリニックとの協働を通じて、利用者を包括的に支援する。

整形外科の患者と介護の利用者に向けて、店内に介護ベッドやつえ、高齢者向け手押し車など介護関連商品を展示販売し、商品を説明する福祉用具専門相談員も常駐させている。

今後は通所介護（デイサービス）や福祉用具の貸与